

研修旅行

「秋田県立近代美術館 若冲と京の美術」と
「横手市増田まんが美術館」への旅

2019年9月28日(土)

早川博明館長様にご同行いただき、早朝、34名で出かけました。

「秋田県立近代美術館」は、秋田県総合文化観光施設「秋田ふるさと村」にある美術館で、学芸員さんの解説をいただき、企画展・京都細見美術館のコレクション「若冲と京の美術」の迫力ある若冲の《群鶏図》《雪中雄鶏図》、重要文化財の茶釜等、京都の洗練された美術工芸品等を、常設展では秋田県ゆかりの作家、小野田直武・福田豊四郎・平福百庵等の作品を鑑賞しました。



その後は、各自、ふるさと村内のさまざまな施設を自由に巡り、秋田県の工芸品や民芸品を見たり、名産品を購入したりと、楽しみました。

昼食は、増田町の国選定重要伝統的建造物群保存地域にある佐藤養助商店で、稲庭うどん特製ランチを食べ、付随する漆蔵資料館を見学しました。

「横手市増田まんが美術館」は、1995年に増田町出身の漫画家・矢口高雄（『釣りキチ三平』等）の業績を記念して作られた美術館を、国内外の漫画原画20万枚を収集し、5月にリニューアルオープンした本格的な美術館で、図書室や貴重作品をデジタル化するアーカイブ室・カフェ等を備えており、原画の迫力や細部を描く細やかさ・連続画に、感動しました。

お天気にも恵まれ、友の会らしい充実した楽しい旅行でした。

(辺見美江子)



コンサート・
ワークショップ

シターのコンサートとワークショップ

2019年11月16日(土) 会場 如春荘

シターは、主にフランスの修道院で瞑想のために使われる楽器です。演奏者の中川啓子さんは、2015年にお招きして、文化センターで演奏していただいたことがあります。今回は中川さんが仙台を訪問されるのに合わせて、福島での演奏会をお願いしました。会場は如春荘という美術館の向い側にある和風家屋。ここは福島大学経済学部の同窓会館でした。40畳敷の広間の中央で、40名ほどの聴衆が楽器を囲んで聴くという、アットホームなコンサートでした。中川さんは、シューマンやサティのクラシックの名曲から、サウンドオブミュージックなどポピュラー名曲を、素朴で優しい音色で聴かせてくださいました。楽器の解説や、楽器に触れて音を出してみるワークショップも交えて、晩秋の午後、なごやかな時間を過ごすことができました。(伊藤匡)



アート・
チャリティ・
バザー

「今年も盛況のうちに！」

2019年12月8日(日)

12月8日(日)美術館エントランスホールにて恒例のチャリティーバザーが開催されました。昨年に引き続き、開店からたくさんのお客様でホールは熱気に包まれました。掘出し物、お目当て品が続出!? これからも、楽しんでいただけるバザーを開催していきたいと思いを。(舟木藤弘)



実技講座

実技講座

3月20日開催予定「木炭で静物を描く」は、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を受け、中止することになりました。

残念でしたが、次の機会を待ちたいと思います。

(佐藤みどり)